

# 令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

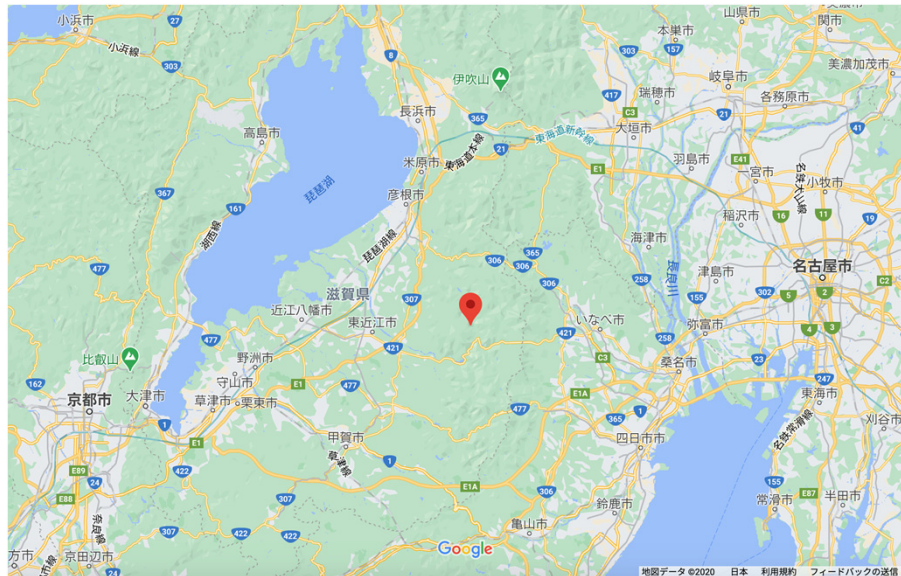
今年度より“環境整備“に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：箕川未来協議会

活動地域：滋賀県東近江市箕川町

活動におけるテーマ・キャッチコピー  
未来の箕川町をはじめめる。

# 活動団体紹介



規約（目的）より

本協議会は、  
地域にひとときの住人として滞在しながら、  
山の暮らしや文化を体験できる郷として  
箕川町を再生し、  
若者の地方回帰の促進、  
林業の振興などを通じて、  
未来につながる豊かな地域づくりを  
推進することを目的として設置する。

地域住人、地域住人の子孫世代、地域事業者、  
地方公共団体職員 15名で 2021年2月設立



# ありたい地域の未来を実現するために何をするか

## ありたい地域の未来

地域の資源を価値として社会に提供し続けられる自立した地域。未来が当たり前信じられる地域。

**課題**（地域の課題、ありたい未来を達成するための障害など）

ビジョンはあるが計画になっていない。ビジョンももう少し深められれば。  
リソース（人・もの・お金）が、おそらく十分ではない。  
地域の高齢化は進んでおり、あまり悠長に構えてはいられない。

**資源**（活用できる地域資源、必要な資源、地域外の資源など）

人が長く暮らしてきた集落の佇まい、雰囲気。景観。古民家。  
自然環境。森林。溪流。気候。都市部からの距離感の良さ。  
この地域へ愛着をもっている多くの人。

**取組**（ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ）

古民家を生かしたホテル事業。エコツーリズムなどのソフト事業。  
特に森を“使う体験”ができるプログラムの開発。  
クミノの里構想（地域にフォーカスしたプロダクト・ビジネスモデルの展開）

**成果**（取組によって出したい成果）

利益を地域の未来に再投資できるようになる。若い世代が働き甲斐を感じる社会環境（生活・仕事）ができる。経験を他地域へ展開できるようになる。



# 年間スケジュール（参考資料）

